

保育所における自己評価結果（公表）

公表：令和7年4月1日

保育所名：小規模保育園ひだまりの家

		チェック項目	はい	いいえ	分からない	未記入
境・ 体制 整	1	生活空間は、子どもの成長・発達に配慮された環境になっていますか	21	0	0	0
	2	生活空間は、清潔で、心地よく子どもの活動に合わせた空間となっていますか	21	0	0	0
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、職員が参加していますか	21	0	0	0
	4	保育園向け自己評価表や保護者向け評価表の結果を踏まえ、自己評価を行うとともに、その結果・内容を、ホームページ等で公開していますか	21	0	0	0
	5	職員の資質の向上を行うため、研修の機会を確保していますか	21	0	0	0
保育 の 提供	6	丁寧なアセスメントで子どもの発達状況を把握し、指導計画を作成していますか	21	0	0	0
	7	指導計画に沿った支援が行われていますか	21	0	0	0
	8	活動内容が総合的な視点から柔軟な形で対応されていますか	21	0	0	0
	2	子どもの状況に応じ、個別と集団活動を柔軟に組み合わせて指導計画を作成していますか	21	0	0	0
	10	職員間で情報共有をし、その日行われる保育の内容や役割分担について確認していますか	21	0	0	0
	11	保育終了後には、職員間で、その日の振り返りを行い、情報共有をしていますか	21	0	0	0
関係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	12	日々の支援に関して記録をとり、保育の評価・改善につなげていますか	21	0	0	0
	13	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っていますか	21	0	0	0
	14	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っていますか	21	0	0	0
	15	同法人の保育園、児童発達支援事業所等の関係機関、または職員と連携し、助言や研修を受けていますか	21	0	0	0
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っていますか	21	0	0	0
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	17	保護者に対して保護者向け講座や家族支援プログラム（親と子の心を結ぶプログラムTo Heart等）の支援を行っていますか	21	0	0	0
	18	入園のしおり、運営規程、重要事項、利用者負担等について丁寧な説明を行っていますか	21	0	0	0
	19	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っていますか	21	0	0	0
	20	保護者参加型の行事、保護者向け講座等の開催により、保護者同士の連携を支援していますか	21	0	0	0
	21	子どもや保護者からの相談やご意見について、担当窓口が決まっていて、適切に対応していますか	21	0	0	0
	22	園だよりやホームページ等で、活動や行事内容等の情報を子どもや保護者に対して発信していますか	21	0	0	0
	23	個人情報の取扱いに十分注意していますか	21	0	0	0
	24	保育園の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた園運営を図っていますか	21	0	0	0
非 常 時 等 の 対 処	25	緊急時の各種対応マニュアルを策定し、入所時に保護者へ周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練を実施していますか。	21	0	0	0
	26	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っていますか	21	0	0	0
	27	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認していますか	21	0	0	0
	28	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされていますか	21	0	0	0

応	29	ヒヤリハット事例集を作成して保育園内で共有していますか	21	0	0	0
	30	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしていますか	21	0	0	0

工夫している点

- ・一人ひとりの子どもと丁寧に心を通い合わせることを大切にしながら保育を行っている点。
- ・保護者に対して、園生活での子どもたちの様子や成長を共有することとして、定期的に写真と保育者のコメントを掲示している。
- ・これまでTOKOTOKOで経験してきたこと、学んできたことを職員と共有することに努めた。
- ・近所（おばあちゃん）の方との交流、姉妹園との交流、地域行事への参加により地域の方との交流ができてよかったと思う。
- ・自分の思いだけでなくクラス担当と出来事を共有し様子を伝えるようにした。
- ・子どもたちの心に届くように対応する。
- ・保育士だけでなく、栄養士、専門職の職員、地域の方々が、みんなで子どもに関わり見守っていただけることで、たくさんの方がみんなで子どもたちを育てて行くところに温かさを感じている。
- ・子どもたちの生活や遊びの中で、どんなことに興味があるのか、観察しながら「美容師ごっこ」「洗濯ごっこ」「海ごっこ」等子どもが喜ぶ環境を整えたり、落ち着いて過ごせる環境づくりを職員間で話し合いしながら進めて来た。また保育室だけでなく廊下を活用しながら季節感を出せる工夫していった。
- ・職員増員のため、情報共有を一人ひとり丁寧に行うことが重要であると感じている。
- ・保育士間で子どもへの対応を共有し、こどもの意思を尊重し、気持ち受け止め行動を待つように心掛けている。
- ・一年を通しての野菜作りや自然に触れる環境が食に繋がったり優しさに繋がっていくのだろうと思われ素敵な環境である。
- ・子どもが園で楽しそうにしていることや、頑張ったこと、成長の様子など些細なエピソードでも保護者の方にお伝えするように心掛けている。
- ・ケース会議は、保育士同士が共有することができたり、専門職の方からこんな関わり方もある等意見を頂戴し見方が広がった。
- ・写真掲載によって、子どもたちの成長や、日々大切にしている保育理念が保護者に伝わるよう取り組んでいる。
- ・保護者対応をする際は、保護者の頑張りを認め褒めお祝いをしていくことがとても大切であると実感した。

課題や改善すべき点

- ・延長保育だと研修に参加できないこともあり残念。
- ・園児が低年齢ということもあり、行動の意味を知ったり余裕のある対応をしつつ子どもに寄り添う所が足りなかった。慌ただしさに流されてしまうことがあった。
- ・保護者の努力している事を感じながら気持ちを受け止め言葉にすることは難しい。
- ・「ダメよ」と咄嗟に言葉が出てしまうことがあり（危険がある時）言い回しに気を使うことが多かった。「ダメよ」の前に理由立をして子どもが理解できるように心掛ける努力をしている。
- ・ケガの続くお子さんのご家族への伝え方に難しさを感じる。
- ・保護者対応で、保護者の方がどういった考えで話してくれたのか考えて対応するのが難しいと感じた。
- ・保育の一日の流れについて、クラス担当者が、じっくりと話しあえる機会を作っていただき有難かった。
- ・法人研修では、自分を振り返ったり保育に活かせる内容、命を預かる上で大切な技術等教えていただきとてもためになった。
- ・感染症対策の見直し。保護者への様々な伝達方法の改善対応を検討していく。